

三鴨小だより

10月号

発行日 令和 3年10月14日(木)

発行者 三鴨小学校長 秋元 寛次

学校教育目標

やさしい子

かしこい子

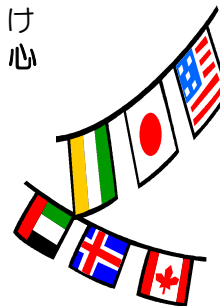
たくましい子



三鴨小HP

【みかもニコリンピック練習開始】

10月4日(月)より、本格的にみかもニコリンピックに向けて練習がスタートしました。今年のスローガンは「紅組白組 心をひとつに 勝利をつかめ みかもっ子」です。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3週間延期しての開催となります。

競技や係活動に前向きに取り組む児童の姿をご覧ください、温かいご声援をお願いいたします。また、ご観覧に際して、感染症予防対策へのご協力も併せてお願いいたします。

【見せ合う授業(道徳科)】

9月16日(木)に6年1組(矢部教諭)において、「作業服のノーベル賞」の教材を使って、個性の伸長について学習しました。自分のいいところについて、自分自身を見つめ、話し合う場面では、「自分の考えで進みたい」「好きなことを忘れずに続けていきたい」「大人になっても僕は僕のままでいたい」「自分のいいところを大切にしよう」などと考えている児童が見られました。



【避難訓練(竜巻対応訓練)】

9月22日(水)に竜巻対応の避難訓練を行いました。前日21日(火)に事前指導を行いました。事前指導では、各教室において天気による災害からの身の守り方を学習しました。



こちらは、当日の竜巻避難訓練の様子です。机シェルターをつくり、防災頭巾やランドセルを使って体を守っています。



【人権教育に関する授業】

9月22日（水）に5年1組（稲葉教諭）において、パラリンピックの価値「公平について考えよう」という題材で、学級活動の研究授業が行われました。障害の有無に関わらず、共にスポーツを楽しむことができるようにする工夫を考えることで、実生活の中で公平について考慮した言動や行動ができることを、ねらいとしました。児童からは「障害をもっている人を特別扱いしない」、「できる限り皆と同じルールで」、「どうしたらよいか直接本人に聞いてみる」などの意見が出ました。一人一人が、「公平」について考えることができました。



【藤岡第一ブロック道徳教育研究発表会】

研究主題 自他を尊重し、共に夢に向かう児童・生徒の育成
～9年間を見通した一貫性のある道徳教育の推進～

11月11日（木）に、栃木市教育委員会の皆様、栃木市内小学校の道徳教育推進教師の先生方（13名）をお迎えし、2年間（令和2・3年度）における道徳教育推進研究の発表をさせていただきます。

一中ブロックの研究は、道徳の時間に、児童が「自分のこととして捉える工夫」、「心を開き、本音で伝え合うための工夫」などに重点をおいて研究を進めてきました。

当日の流れは、研究の概要を全体会で説明し、その後、1年1組（板橋教諭）と4年1組（福田教諭）で研究授業を行います。最後に、授業研究会をもち、授業の振り返りや本校の道徳教育推進研究についてのご意見等をいただき閉会となります。

なお、当日の児童下校は2・3・5・6年生、4時間授業の一斉下校（13：00）、研究授業を行った1・4年生は、5時間授業の2学年下校（14：50）となります。

【できることを確実に】

9月中は短縮日課での学習でしたが、普段の授業はもちろんですが、リモートによる避難訓練（竜巻対応）や研究授業、運動会に向けての選手選考、係決めなどを行ってきました。

また、タブレットを活用した新たな取組もスタートしました。タブレットの接続に関して、ご家庭でのご協力ありがとうございました。今後も情報モラルに配慮した活用にご協力をお願いします。

さらに、新型コロナウイルス感染症への感染対策を図りながら、児童の健康安全を第一とし、可能な教育活動を実施していくことが大切です。保護者、地域の皆様には、これからも本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。